



令和 4年2月24日

さら・さくらの湯の温泉に関する請願

犬山市議会議長

三浦知里様

住所



団体名

「さら・さくらの湯」の温泉継続を求める会

代表者名



印



外1122名

紹介議員

岡 覚 水野正光

岡村千里

請願の主旨

市民健康館「さら・さくらの湯」は、2001年以降市民の健康保持・心の癒やしの施設として親しまれてきました。今回温泉の輸送に経費がかかり水道水に切り替えるとのこと。病院予定地を市民の健康を守る施設として、病院に変わり温泉併設の健康施設として建設されたものです。

さら・さくらの湯は、友好都市（名馬磨墨・明宝産：犬山に塚）の郡上市の明宝温泉を利用していますが、同温泉の成分が非常に良いとすることで利用者にも好評です。

高齢者・障がい者等交通弱者にとって「さら・さくらの湯」への入浴は、生きがいでもあります。特に、「ゆとりの湯」は、車椅子利用者など介護の必要な方の専用浴室で他の温泉施設にはありません。健康や福祉施策を単純に効率性のみを基準に水道水に切り替えるのではなく、温泉の利用を継続してください。

請願事項

「さら・さくらの湯」の水道水への切り替えはやめ、温泉利用を継続してください。

上記の通り請願します。

